



市章

まにわ

先進地視察レポート6～7ページ

タブレットで防災訓練

9月1日は防災の日。防災の日は、大正12年9月1日に発生した関東大震災にちなみ国が制定しました。この日は、朝早くから市内7会場で自主防災組織など市民約500人が参加して、真庭市総合防災訓練が行われました。

これまで議員は見学のみでしたが、今年は貸与された活動服を着用し、タブレットを持ち、準備段階から参加しました。訓練の様子を

写真に撮り、コメントをつけて議員の安否確認を兼ねて、議長、副議長が待機する真庭市議会災害対策委員会へ送信しました。

これは有事の際、各議員が地域で確認した情報を議員間で共有するため、災害対策委員会へ送信する訓練です。写真データの容量が大きすぎる等の課題も見つかり、今後議会運営委員会でも対策を講じます。

▼市役所前で消防署のレスキュー隊が屋根をくり抜いて、

救助工作車でケガ人を救出する訓練をタブレットで送信する様子



9月定例会

会期9月3日~9月26日

令和元年度9月補正予算

9月議会の会議録は12月上旬、ホームページ及び議会事務局で閲覧できます

1億1,788万円を可決しました

	9月補正額	補正後予算額	対前年比
一般会計	1億5,068万円	299億5,450万円	6.8%減
特別会計	1億1,720万円	131億8,179万円	0.2%減
公営企業会計	△1億5,000万円	63億3,845万円	5.9%減

【主な内容】 今回の一般質問は15人

- ・補正予算3件を可決 議案17件を可決 人権擁護委員6名を同意 決算14件を認定
- ・陳情9件のうち、1件を採択 3件を趣旨採択 1件を不採択
4件を継続審査としました

(単位:万円、千円を四捨五入)

補正後の全会計予算額

対前年比

494億7,474万円

△25億9,983万円(5.0%)減

令和元年度9月補正 会計別予算集計表 単位:万円

会計名	9月補正額	補正後予算額
一般会計	15,068	2,995,450
国民健康保険特別会計	0	491,462
後期高齢者医療特別会計	0	76,626
介護保険特別会計	11,720	620,319
介護保険特別会計 (介護サービス事業勘定)	0	5,052
簡易水道事業特別会計	0	99,278
浄化槽事業特別会計	0	8,683
津黒高原観光事業特別会計	0	2,078
クワイエ管谷事業特別会計	0	757
温泉事業特別会計	0	13,924
特別会計合計	11,720	1,318,179
水道事業会計	0	114,753
下水道事業会計	0	344,254
国民健康保険湯原温泉病院 事業会計	△15,000	174,837
公営企業会計合計	△15,000	633,845
合計	11,788	4,947,474

千円を四捨五入

臨時・非常勤職員は
会計年度任用職員に
地方公務員の臨時・非常勤職員は任用制度を統一化し、適切な運用を確保

保するため、令和2年度から地方公務員法及び地方自治法の一部を改正し、「会計年度任用職員制度」を創設することに伴い、真庭市においても条例を制定しました。

▼設置済のドライブレコーダー



一般会計 主な歳出

ドライブレコーダーに334万円

生ごみ等資源化施設整備事業1, 840万円などを可決しました。

公用車152台
ヘドドライブレコーダーを設置する事業334万円、高齢者を悪質な電話勧誘から守る機器購入補助100万円、

043万円、地域内再生エネルギー自立可能性を調査する地域マインクログリッド構築支援事業231万円、市道草加部線、道路新設改良事業1,940万円、農地・農林業施設等災害復旧事業470万円、公共土木施設・河川等災害復旧事業3,580万円、また基金として森林環境譲与税を原資とした森林林業・木材産業活性化基金積立金4,

主な議決内容



稼働率が高い北町公園内の久世体育館

指定管理者が決定

真庭市の施設を管理運営する指定管理者が決定しました。④の次に書いているのは令和2年4月1日からの期間を示し、⑤の次に書いている金額は1年間の指定管理料です。

▼北町公園・宮芝公園・真庭やまびこ公園(久世) 公募
1 団体 指定先Ⅱ(二財) 真庭スポーツ振興財団
代表理事 梅井康司 ④4年間 ⑤4,849万円

▼真庭市湯原保健福祉センター 非公募1団体 指定先Ⅱ(社福) 真庭市社会福祉協議会 会長 松浦躬行 ④5年間 ⑤3,205万円

▼真庭市コスモスの里特産品ふれあいセンター 公募1団体 指定先Ⅱびほく農業協同組合 代表理事組合長 平山薫 ④5年間 ⑤0円

▼勝山堆肥センター 公募1団体 指定先Ⅱ(有)エコライフ商友 代表取締役 河野文雄 ④5年間 ⑤129万円

新たな過疎対策法の制定を

議員立法で制定された過疎地域自立促進特別措置法が令和3年3月末に法期限を迎えますが、引き続き総合的な過疎対策を充実・強化される必要があることから、新たな過疎対策法を制定するよう、国に対し意見書を提出しました。

幼児教育・保育の無償化がスタート



天の川こども園の園児たち

真庭市立幼稚園保育料徴収条例が廃止され、10月1日から幼児教育・保育の無償化がスタートしました。具体的には、認可保育園・幼稚園・認定子ども園を利用する3歳〜5歳児の利用料が無料に、0歳〜2歳児は、住民税非課税世帯の利用料が無料になり

ます。認可外施設等については利用料を補助します。給食費は、幼稚園・こども園

幼稚園部は従来どおり実費が必要です。保育園・こども園保育園部の3歳〜5歳児は主食費400円、副食費4,500円が必要で、さらに年収360万円未満相当の世帯の子どもは副食費が、全ての世帯の第3子以後の子どもは保育料・副食費が免除されます。

Q どう広報するのか?

A 通園している子ども、保護者にはチラシの配布により制度の周知を図っています。一般には広報紙・ホームページ等でお知らせします。

車3台を購入

▼コミュニティバス用中型バス(33人定員) 1台 入札による契約2,044万円
(有)加藤モーターズ

▼消防ポンプ自動車(蒜山方面隊第3分団第1部) 1台 入札による契約1,804万円
(株)吉谷機械製作所

▼消防ポンプ自動車(蒜山方面隊第4分団第1部) 1台 入札による契約1,826万円



まにわくんは市内で21台運行しています

違反対象物を公表

火災予防条例を改正

現在の火災予防条例に「違反対象物を公表する」制度が新設されます。この条例は、病院・旅館・飲食店その他不特定多数の人が出入りする建築物について、重大な違反がないか確認を行い、是正を求めます。令和2年4月1日以降、是正されない場合、ホームページで公表します。

Q 9月現在、何件の違反建築物がありますか?

A 現在3件ありますが、4月1日までに0件になるよう是正指導していきます。

陳情

自立支援医療の改善を

【採択】

「自立支援医療(精神通院医療)」に入院を加える改善、及び、重度心身障害者医療費助成制度の対象者に精神障害者を加えることを求める」意見書の提出を求める陳情は、審議の結果全会一致で採択され、国と県に対し意見書を提出しました。

次ページへ

晴海プロジェクトで地域振興

【趣旨採択】

▼陳情第6号「CLT晴海プロジェクト」を契機とした真庭市全体の地域振興についての陳情書

▼陳情第8号「CLT晴海プロジェクト」で真庭産材の活用とPRについての陳情書

産業建設常任委員会から陳情2件を趣旨採択とする報告に対し、岡崎議員から継続審議、再付託を求める動議があり、起立少数により否決され、採決の結果、委員会の決定どおり趣旨採択となりました。

▼陳情第6号【討論あり】
【反対】岡崎陽輔議員

陳情第6号については、先ほどの委員長報告は趣旨採択ということであったが、まだ全体の理解、趣旨の中身等十分なのでこれを採決す

べきではない、趣旨の採択もすべきでないと思うので反対する。

【賛成】長尾修議員

6月定例会で晴海プロジェクトにかかわる調査費が賛成多数で可決され、継続だった本陳情を委員会で審議し、陳情の趣旨は理解した。執行部は陳情内容を尊重し、我々に調査報告、晴海プロジェクトの内容を示し、それに基づき審議を進めるためにも趣旨採択に賛成する。

【反対】楠本健治議員

本事業を推進すべきかどうか、執行部も検討しているし、議会も鋭意検討している段階で、趣旨採択という極めてあ

いまいな判断の決定をする案件でない。本事業を推進する事によって、地域の活性化、観光振興に寄与するという判断が出来るか調査しながら判断すべきで現段階における趣旨採択に反対する。

【賛成】初本勝議員

本陳情は、この疲弊し

主な議決内容

晴海に建設中のパビリオン



晴海プロジェクトで真庭産材の活用

【趣旨採択】

ている地域を少しでも早く活性化してほしいという意見であり、その趣旨は十分理解できるので、趣旨採択に賛成である。

▼陳情第8号【討論あり】
【反対】岡崎陽輔議員

第8号についても、第6号と同様、委員会の判断は趣旨採択であるが、その趣旨の中身、理由が不明瞭であるので反対する。

【賛成】長尾修議員

第8号についても、第6号と同じ理由で趣旨採択に賛成する。

本陳情は、この疲弊し

賛否の分かれた案件	議席順	氏平篤正	築澤敏夫	大月説子	小田康文	中元唯資	楠本健治	中尾哲雄	福井狂助	入澤廣成	長尾修	河部辰夫	初本勝	庄司史郎	竹原茂三	山本久恵	原秀樹	谷本彰良	柴田正志	岡崎陽輔	福島一則	古南源二	岩本壯八	妹尾智之	緒形尚
陳情第6号、第8号を継続審議とし、委員会再付託を求める動議		●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「CLT晴海プロジェクト」を契機とした真庭市全体の地域振興についての陳情書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「CLT晴海プロジェクト」についての陳情書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める陳情書		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

古南源二は議長職のため評決に参加しない 敬称略 ○は賛成 ●は反対

自治体臨時職員の地位・待遇改善を【趣旨採択】

令和2年4月の会計年度任用職員制度施行に向け、公務員共サービスの拡充と自治体の臨時・非常勤職員の待遇改善や任用の安定を図るため、地方自治体の財源確保等を国に求めるものです。全会一致で趣旨採択となりました。

消費税増税中止を求める

【不採択】

国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める陳情書が提出され、委員会の決定とおりの不採択となりました。

【討論あり】

【不採択に反対】岡崎陽輔議員

①増税は、1世帯当たり

年8万円の負担増だ。事業者の納税額は2倍だ。消費税は廃止。②税収累計372兆円。法人3税の減税額291兆円8割が法人事業税減税に消えた。社会保障の財源にならぬ。③複数税率導入。インボイス制度など消費者・事業者の負担と混乱は必至。

【不採択に賛成】谷本彰良議員

増税が国民生活に影響を与えるのは必至ではあるが、増税への移行準備が完了しているこの時期に提出されていることや、社会保障費を賄うための増税であり、代替案が示されていない。持続可能な社会を維持するために増税はやむをえないと判断し不採択に賛成。

4階傍聴席は市民席



傍聴席入口

傍聴を希望される方は、議会開会中に真庭市役所4階にお越しください。議場の入り口で、住所、氏名、年齢をご記入いただければ、簡単に傍聴席へお入りいただけます。傍聴席は30席用意しています。

また、本会議の様子は真庭いきいきテレビで生中継されています。議員の発言の際、傍聴席が生中継に映り込む場合がありますが、ご了承ください。

平成30年度 決算

委員長 福井 荘助
副委員長 柴田 正志

決算審査特別委員会は、9月10日の本会議で付託された平成30年度真庭市一般会計決算の認定のほか、特別会計、企業会計、計14件について9月17日、18日に審査しました。その概要と監査委員から報告がありました財政状況の内容をお知らせします。

一般会計歳出決算額 296億175万円 20億5,762万円の黒字

平成30年度一般会計及び特別会計を合わせた決算額は歳入449億1,003万円、歳出426億3,361万円であり、差引額は22億7,642万円の黒字となりました。一般会計、特別会計、企業会計決算14件はいずれも認定となりました。

一般会計歳入一覧表

単位：万円

款	収入済額	構成比率
市税	505,290	16.0
地方消費税交付金	84,888	2.7
地方交付税	1,419,120	44.8
分担金及び負担金	33,540	1.1
使用料及び手数料	40,317	1.3
国庫支出金	215,147	6.8
県支出金	163,784	5.2
繰入金	90,954	2.9
繰越金	143,006	4.5
諸収入	44,330	1.4
市債	333,370	10.5
その他	92,192	2.9
合計	3,165,938	100.0

一般会計歳出一覧表

単位：万円

款	支出済額	構成比率
議会費	22,037	0.7
総務費	362,405	12.2
民生費	723,361	24.4
衛生費	261,279	8.8
農林水産業費	171,710	5.8
商工費	73,216	2.5
土木費	264,230	8.9
消防費	112,179	3.8
教育費	296,039	10.0
災害復旧費	100,631	3.4
公債費	405,938	13.7
諸支出金	167,149	5.6
合計	2,960,175	100.0

千円を四捨五入



委員長席

特別会計歳出130億3,186万円 2億1,880万円の黒字

単位：万円

区分	歳出決算額
国民健康保険	507,558
後期高齢者医療	71,451
介護保険	599,918
介護保険(介護サービス事業勘定)	4,634
簡易水道事業	95,128
浄化槽事業	9,014
津黒高原観光事業	2,846
クエイト菅谷事業	761
温泉事業	11,877
合計	1,303,186

4つの企業会計(資本収支の掲載は省略しました)

単位：万円

国民健康保険湯原温泉病院事業会計	事業収益	146,785	下水道事業会計	事業収益	172,758
	事業費用	148,963		事業費用	171,938
水道事業会計	事業収益	68,316	農業共済特別会計	事業収益	25,086
	事業費用	62,069		事業費用	25,040



今年9月から市役所本庁舎市民課に、受付番号発券機が設置されました

基金(平成31年3月31日現在) 単位：万円

基金名	現在高
財政調整基金	1,186,698
減債基金	218,886
土地開発基金	40,465
未来を担う人応援基金	97,216
振興基金	240,596
情報化施設整備基金	65,384
ふるさと真庭応援基金	20,800
真庭市立学校施設整備基金	38,280
真庭市認定こども園等施設整備基金	31,393
公共施設整備等基金	914,286
旧遷喬尋常小学校整備利活用基金	4,960
国民健康保険事業基金	66,262
その他	38,442
合計	2,963,667

一般会計における財政分析の状況

区分	平成29年度	平成30年度
財政力指数	0.301	0.298
経常収支比率	88.4%	89.8%
実質公債費比率	9.0%	9.8%
将来負担比率	—	—

監査委員の報告から抜粋

経常収支比率は89.8%で、前年度に比べ1.4ポイント硬直化が進み、財政力指数も0.298と前年度に比べ0.003ポイント低下した。また、実質公債費比率は9.8%で、前年度に比べ0.8ポイント高くなっているが、将来負担比率は前年度に引き続き、充当可能な財源が将来負担額を上回っており、実質的に21.8ポイント改善している。

将来にわたり安定的な財政運営を維持できるよう、今後とも行政改革推進と財政基盤の強化に努められたい。

大分県日田市の移住施策

総務常任委員は大分県日田市を視察した。日田市は平成の大合併で2町3村を吸収したために、人口7万4千人となったが、合併からの14年間で9千人が減少。65歳以上の高齢化率も26%から34%へと少子高齢化が進んでいる。

日田市では、このような厳しい現状をふまえ、これからの地方創生に向けた取り組みの実現にあたり、国立社会保障・人口問題研究所が推計する2060年の人口3万5千人に対し、5万



日田市議会議場

人の人口維持を目指している。

そして、人口減少に歯止めをかけるべく、日田市版まち・ひと・しごと創生総合戦略では、「地域力日本一・持続可能なまちづくり」として4つの基本目標を掲げ、安定した雇用の創出、新しい人の流れを作る移住の促進、結婚から子育てまでの切れ目のない支援、共助の地域づくりなどの施策を積極的に進めている。

3年連続移住者大分県1位

これらの手厚い施策と相まって、日田市は九州の中心でもある福岡市まで、高速バスで1時間で行くことが出来る地の利を生かして、目標を大きく上回る移住やUターンの実績を上げている。県外からの移住者数は、3年連続大分県内で1位。九州管内からの移住、特に福岡県からの移住が多い。

また、インターチェンジ近くの温泉地も移住先として人気が高く、真庭市も工夫次第では可能性があるのではないかと感じた。

(文：谷本)

先・進・地・視・察・レ・ポ・ー・ト

8月7日 大分県日田市：日田市役所
8月8日 大分県別府市：別府市役所

択された、手話言語法制定を求める意見書を全国最初に採択し、手話言語条例の先進地白山市を視察しました。

住みよさランキング2019 全国1位 共生のまち白山

白山市の取り組みは、市の総合計画の理念である、「健康都市 白山」として、健康で笑顔あふれる元気都市として、まちづくりの方向性が明確でした。その中で、障害を理由とする差別解消の基本理念を定める共生のまちづくり条例(2017年10月)また、手話言語条例(2018年4月)がしっかり位置付けられています。条例制定前から共生のまちづくり専門委員会を設置し、庁舎内はもちろん、幅広い市民論議を経て底地をつくりながら条例制定を進めています。それは条例制定後、差別解消のまちづくり支援協議会設置に繋がっています。手話言語条例の基本に共生のまちづくり条例があることも認識できました。

障害の有る無しに関わらず、誰もが暮らしやすい共生のまちづくり白山の取り組みは、住みよさランキング全国一(東洋経済新報社発表)の基本となっています。

(文：岡崎)



白山市議会議場

石川県 共生のまちづくりと手話言語条例

私たち文教厚生常任委員会は、7月、聴覚障害者サークルとの意見交換会を実施しました。その中で、ろう者の方々は「真庭市に手話言語条例を作って欲しい」と切実な声を寄せてくれました。手話の苦難の歴史とともに手話が言語であることを学びました。今では、全国全ての自治体で採

大分県別府市 公私協力で大学誘致

大分県と別府市と私立大学の協働により誘致した「立命館アジア太平洋大学」を視察した。人口は、令和元年5月現在で11万7千人のうち外国人4千4百人で留学生は3千4百人と人口3%を占めている。(真庭市は0.6%) 出身国は、中国・韓国・インドネシアが大半で上位10位は、全てアジア圏が占めている。留学生の人数としては全国で5番目である。

国際大学を起点とした地域活性化

大学誘致の経緯は、県と市が協力し、国際化を目指すとして政策を掲げ、別府市としては観光客の減少もあり、アジアの活力・成長力を取入れたいとの背景があった。大学への補助金は、設立当初のみ拠出したこと。留学生、外国人労働者、大学、行政、市民をつなぐため、多文化共生をキーワードとして外国人と地域の交流・市民の外国語を学ぶ機会の促進・行政の外国語対応力の向上・国際化自体を市のアイデンティティとする等を具体的な施策のベースとした。また、市では「外国人留学生地域活動助成金」の事例として、

ベトナム文化の日・インドネシア文化祭・イスラム文化まつり・空き店舗利用での美術展・市民とのミュージカル等に助成金の支給がある。また、市窓口での外国語対応強化として、日常生活に密着した部署での対応のため職員全体のレベルアップとしてコミュニケーションが取れるように英語講座も開設している。市に語学専門の非常勤職員を配置しあらゆる問題に対応している。市の意気込みに感銘した。

(文・原)



萩野別府市議会議長から歓迎あいさつを受けました

8月20日 富山県富山市:富山市役所
8月21日 石川県白山市:白山市役所

Senshinchi Shisatsu REPORT

富山型デイサービスの導入

文
教
厚
生

富山県

富山型デイサービスとは、平成5年に富山赤十字病院を退職した3人の看護師が開所したデイケアハウス「このゆびと一まれ」において、赤ちゃんからお年寄り、障害のあるなしに関わらず受け入れたことから始まり、後に「富山型」と言われるようになりました。開設の中心人物惣万佳代子さんは、後にナイチンゲール記章を受賞され、富山型デイサービスの制度化にもつながりました。

小規模・共生・地域密着

富山型デイサービスは、「小規模」「共生」「地域密着」がキーワードで、平成18年に障害者自立支援法が改正され、富山型デイサービスの全国展開が可能になりました。つまり、基準該当事業所のデイサービスの定員内であれば、介護保険適応の高齢者も、総合支援法適応の障害者も、児童福祉法適応の障害児も、さらには法廷外の乳児(実費)も利用することが可能です。また、平成29年の障害者総合支援法等改正で、「共生型サービス」

の報酬が創設され、通所していた障害者が共生型施設で働くことが可能になれば、B型事業所として認めることにもなりました。

真庭市への導入の可能性については、①共生型サービスの報酬の低さ。②真庭市の補助金の可能性。等の問題はありますが、地域住民を巻き込み空き家を活用した小規模多機能事業所として行えば、真庭市が取り組む「誰ひとり取り残さない地域づくり」というSDGsの理念にも繋がります。

(文:大月)



富山市職員から説明を受けました

総務常任委員会

本委員会では、6月12日、8月20日に委員会を開催し、各担当部署の出席を求め、調査研究を行いました。

■意見交換会・先進地視察を実施

8月1日に、今年度から新たに配置された兼任型の集落支援員の皆さんとの意見交換会を、また、8月7日・8日に、大分県日田市と別府市への先進地視察を行いました。（詳細は「先進地視察」・「議会の動き」ページをご覧ください。）

《総合政策部》

■高等教育機関立地の可能性に挑戦
定住人口の増加や市の活性化につながるため、真庭の特性を生かした高等教育機関の誘致や整備が可能かどうかを調査する取り組みの進捗状況について報告がありました。

今年度は、高等教育機関の立地によって得られる様々な効果、全国的状况、地域の特性をふまえた分析や大学等へのアンケートにより課題を整理し、立地に向けた検討のための基礎調査を行います。

高等教育機関の設置は、地元の人

材を引き留めるとともに、外部から若者を呼び込むことで、まちに賑わいをもたらす効果が期待できますが、少子化が進行する社会状況をふまえると、経営リスクなどの課題を含めた検討が必要です。

委員からは、市民の関心も高い事業であり、検討を始めた以上はきちんとした成果が出るよう、不転の決意で取り組むべきとの意見がありました。

Q 調査の結果はいつ出るのか。また、市としての方針をいつごろまでに定めていくのか。

A 基礎調査が終了する来年2月に、材料がそろった段階から検討することとなるため、今年度中の方針を出すことは困難。来年度の総合計画等の見直しとあわせて、十分検討していきたい。

Q 高等教育機関には短大・大学専門学校などいろいろな種類があるが、現段階ではどのようなもの想定しているのか。

A 限定するところまでは至っておらず、出てきたデータを基に時間をかけて検討していく必要があると考えている。



「聞き書き」を通して地域を学ぶ、真庭なりわい塾の塾生たち 中和地区

■「なりわい塾」で地域を元気に
平成28年度から中和地区で行われてきた人材育成塾「真庭なりわい塾」

- 樹良成文二夫則恵
- 秀彰廣康源敏一久
- 本澤田南澤島本
- 原谷入小古築福山
- 委員長 員 員 員 員
- 委員 委員 委員 委員

について、些部商店街の活性化や農泊推進などの取り組みをふまえ、実践的な学びの場として、新たに北房地区での開催を目指し、地域と調整を行っていることの説明がありました。

現在4期生24人が活動する「真庭なりわい塾」は、卒業生のうち5人が真庭へ移住し、集落支援員や地域おこし協力隊などの様々な方面で活躍中です。

移住のみならず、都市部から通う塾生が、地域で暮らす人々に出会いながら農山村への理解を深め、自ら暮らしを創る力を養うとともに、地域や住民らが共に成長できる仕組みも構築されつつあり、さらなる交流人口の拡大につながる施策として、議会においても今後の展開を注目していきます。

Q 北房で開催するなりわい塾について、中和と北房が大きく違うポイントは何か。

A 北房地域において「経済」という部分をどうしても外せないことから、「経済」を取り入れたプログラムにしたいと考えている。

文教厚生常任委員会

本委員会では、6月11日、8月22日に委員会を開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

■園視察・意見交換会・先進地視察を実施

7月8日・10日・12日に、真庭市内の幼稚園・保育園・こども園の視察を、7月11日に真庭市聴覚障害者コミュニケーションの会やまなみの皆さんとの意見交換会を、また、8月20日・21日に、富山県富山市と石川県白山市への先進地視察を行いました。（詳細は「先進地視察」・議会の動き」ページをご覧ください。）

《生活環境部》

■悪質電話の被害を防ぐ

くらし安全課から悪質電話被害防止事業の報告がありました。

悪質な電話勧誘の被害を防ぐため、「通話録音装置」「自動着信拒否装置」の購入を支援するものです。補助対象者は市内在住の満65歳以上の者のみの世帯と、昼間に満65歳以上のみになる世帯です。補助対象金額は、購入・設置に要する経費の2分の1以内で上限5,000円です。PR方法は見守りネットワーク「まにわのわ」と連携した設置の勧奨や、家電販売店等でのPRを予定しています。

真庭市では特殊詐欺の被害は減少傾向ですが、電話による消費者被害の相談は依然として多く、高齢者が被害に遭う危険性があります。高齢者の悪質電話被害の防止や安心して電話に出られ、家族も安心できる効果が本事業に期待されます。

真庭市では特殊詐欺の被害は減少傾向ですが、電話による消費者被害の相談は依然として多く、高齢者が被害に遭う危険性があります。高齢者の悪質電話被害の防止や安心して電話に出られ、家族も安心できる効果が本事業に期待されます。

■生ごみ等資源化施設整備事業者選定に向けて

環境課から生ごみ等資源化施設整備に係る事業者選定の委託について報告がありました。施設整備手法の検討や事業者選定等の事務支援業務を委託するもので、外部委員で構成する「事業者選定委員会」を立ち上げ、事業者選定に係る審査等を行います。

事業者選定委員会で検討される運営形態には、公設公営をはじめ、民間関与の度合いの大小により、様々な手法があり、真庭市にあった手法を検討します。

《健康福祉部》

■湯原保健福祉センターの業務効率化を目指して

高齢者支援課よりとして湯原保健福祉センターの業務効率化について説明がありました。

令和2年度から湯原保健福祉センターで指定管理者が行っている業務のうち、給食調理業務の一部を湯原温泉病院へ委託し、業務・施設を効率化し、経費の削減を図るものです。

湯原温泉病院から湯原保健福祉センターへの給食運搬経費と食器の購入費として、302万

- 輔子正治志之三雄
- 陽説篤健正智茂哲
- 崎月平本田尾原尾
- 岡大氏柿柴妹竹中
- 委員長 員 員 員 員



本庁舎・各振興局に設置されているバイオ液肥スタンド

円の補正予算の要求ですが、給食調理に係る光熱水費、食材等をはじめ、様々な経費の削減が見込め、5年間で1,153万円の削減を見込んでいます。

Q この効率化によって利用者へのサービスの低下は無いのか。

A 栄養士とも協議をして結論に至っているため、サービスの低下は無い。

産業建設常任委員会

本委員会では、5月31日、6月13日、8月21日に委員会を開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《産業観光部》

■真庭観光局の事業は

産業政策課から、一般社団法人真庭観光局の令和元年度事業について報告がありました。

今年度の事業で取り組むこととして、日本版DMO候補法人から認定法人へ移行すること、短期の取組と中長期の取組を明確化したインバウンド誘客事業の実施、バイオマスツアーや滞在交流プログラム、教育旅行の促進等、収益事業の強化を図ることです。

Q イスラムの方々をターゲットにした観光客誘致の進捗状況は。

A ムスリム（イスラム教徒）の誘客は、岡山連携中枢都市圏として、岡山市、吉備中央町と連携し一体となって取り組んでいる事業で、観光局ではなく、市が主体としてとして取り組んでいる。この事業

は、今後2年継続して行うことを予定している。

Q 真庭観光局と各地の観光協会との関係性はどうか変化したのか。

A 真庭観光局と各観光協会は、真庭観光局が新たに設立され、各地にある観光協会は、従来どおりの活動を行っている。将来的に観光協会と真庭観光局、どのように共存していくか課題と考えている。

■蒜山地域振興計画基本構想の策定に向けて

産業政策課から、蒜山地域の観光をはじめ、より回遊性を高めるための地域振興計画策定に携わり、様々なデータ分析等を行う「真庭市蒜山地域振興計画基本構想策定業務」のプロポーザル審査の結果、

- 夫勝八尚郎 修助
- 辰 壯 史 唯 荘
- 部長 本形 司 尾 元 井
- 委員 河初 岩 緒 庄 長 中 福
- 委員 長 員 員 員 員 員
- 委員 員 員 員 員 員
- 委員 員 員 員 員 員
- 委員 員 員 員 員 員



湯原温泉街を散策するムスリムの観光客

Q CLTPパビリオン

は来年度移築する計画と聞いているが、費用対効果等不明な点が多すぎる。年内に報告をまとめるよう業者に言っているのか。

《建設部》

■令和元年7月豪雨の状況は

建設課から令和元年7月豪雨の状況について説明がありました。

令和元年7月8日、9日に主に蒜山地区にて集中豪雨が 발생し、河川の氾濫、護岸の崩壊、市道法面崩落など市道や河川16カ所で大被害が発生しましたが、速やかな復旧に向け取り組むとのことでした。

《勝山振興局》

■旧真庭市樹皮処理加工施設を譲渡

勝山振興局から、旧真庭市樹皮処理加工施設の譲渡について報告がありました。

本施設は昨年3月議会で用途廃止となりましたが、民有地に設置していたため、建物を解体して地権者へ返還することが基本ですが、地権者より借地の売却要望があり、市としても土地と共に建物を売却できれば取り壊し費用が削減できることから、売却先を公募し、解体処分費が1,117万円必要なことを勘案し無償での譲渡としたとのことです。

答弁者



太田昇市長



三ツ宗弘教育長

新しい時代の教育の為に、学校の働き方改革が進められている。今の子ども達が生きていく未来は、IoT・人工知能・AI・ロボッ

学校の働き方改革の実態は

原 秀樹



古南源二議長(右)と左の人は誰? 答え下

真庭市議会 9月定例会

9月定例会の議事録は12月上旬から閲覧できます

一般質問

一般質問の記事は800字以内で、質問した議員本人がまとめています

答:河本京子議会事務局長

答 太田市長

教育関係の改革が一番鈍かった。教育関係の改革は、普遍的なも

その反面、学校教育を支える教師達の長時間労働が深刻な状況にある。教師の働き方を見直す学校の働き方改革が重要になる。教師も子どもも時間は有限です。優先順位をつけ、時間をどの様に配分して、子ども達に効果的な教育活動を有限の時間の中でどの様に

行っていくのか。何の為に何をするのか。慣例的に行われてきた学校の業務も優先順位をつけ廃止する等の改革も必要ではないか。

教育も福祉も地域との協働が重要。協働なくして行政運営は出来ない。市長には総論を、教育長には各論での見解を伺う。



教員の対話促進に木製の円卓導入

答 三ツ教育長

学校教育が将来に渡って持続・発展していく為に、業務の見直しや効率化を含め多角的に改革を検討する。

▼学校中での対話づくり▼適切な勤務時間管理と仕事の効率化や工夫▼学校と地域の協働を重点に、家庭・地域で担うことを考え学校教育の質の向上、家庭環境の充実、地域の活性の好循環を願う何のために行っているのかをきちんと議論する。



写真は広報真庭の嶋田主査、議長席から撮影

長尾 修



問 ナラ枯れ対策は喫緊の課題

近くの山肌が真夏にも関わらず、まるで紅葉したかのように色づいて見え景観を一変させるような異変が起きている。広葉樹のミスナラ、コナラ、クヌギなどが枯死するナラ枯れが鳥取県側から急速に蒜山に入ってきた。被害が真庭市全体に拡がることにより景観、森林資源、水源涵養など森林が持つ多面的な機能の低下が心配される。

今後、拡がらないためにも早急に対応する必要があると思う。林野庁、環境省等に要望することも重要と考える。この問題は喫緊の重要課題と認識しており真庭の森を考えると、樹木が持続的に成長し森林として維持されることが健康な森の条件であると確信している。市長のナラ枯れ問題に対する見解を伺う。

答 太田市長

蒜山を中心にナラ枯れが拡大している。危機意識を持って取り組んできた。原因はカシノナガキクムシ、いわゆるカシナガが媒介するウィルスが広葉樹の大径木に入って枯れる。効果が大きいと期待されているのが、エタノールの入った仕掛けを木の周辺に設置し、匂いに引き寄せられてトラップに入ったカシナガを、木に入る前に捉まえて殺す。健全な山を維持しようと



ナラ枯れが目立つ中蒜山

思えば、切って回していくしかないと思う。どこの山も広葉樹の枯れるような状態をなくしていきたい。特に国立公園の蒜山は貴重な観光資源でもある。全国的な事例を参考にして更に強化していく。

国有林を管理する林野庁、国立公園を所管する環境省にも対策を取ってもらい、岡山県の予算枠も拡大するよう、真庭市も必要であれば予算を拡大し、このカシノナガキクイムシの拡大を防いでいくよう努めていく。

河部 辰夫



問

インバウンド対策、受入態勢の充実を

鳴り物入りで発足した観光局であるが、期待に添う様な動きがない。まずは市内の受入態勢の充実を計るべきと思うが。

答 太田市長

観光局の取り組みについて、効果が見えていないという厳しいご指摘をいただきたい。

た。従来の観光協会をまとめるだけでもそれは大変だったと思う。今まで観光協会にそれぞれ配っていた補助金をまとめて配るといいうのが基本で、もう少し今の時代に合った観光局にしていくこと、そして行政の部分を切り離して、徹底して民間の動きをするということ観光局をつくった。

従来、PRとイベントを、市からの補助金で賄うというところを変えていくことで、事業を商品として捉えて、組織自体が収益活動を行いながら、市全体の活性化と経済循環を目指す、そういう観光のあり方にしていきたい。その中心で頑張っていた。道半ばで、なかなか形、表面で見えていない部分はあるが、組織体質の改善はかなり進んでいる。

真庭市の売りとして目指すものは、観光による地域である。これからの観光、単に景色を見るだけそれでは人は余り来ない。その場でしかできない体験や、さらに訪れた土地で、そこに暮らす人と出会う。人間同士の触れ合い

があることが大事である。観光局は地域の魅力を市民と共有し、既存資源を含めた新たな観光資源を掘り出して、多様な商品づくりをしていきたい。

問 道路網の整備促進

道路の整備が遅れているが、市内全線を点検し道路改良に取り組むこと。



建設中の橋梁 旦土地内

答 太田市長

平成29年度に市道改良基準をつくって一つの基準に基づいてやっていく。出来ない所もたくさんあるが、一つ一つやっていく。

大月説子

問

湯原温泉病院は北部の防災の拠点

北部の中核病院に対して防災の拠点機能を追加するという、真庭市過疎地域自立促進計画の変更は、市民の安心・安全な生活を守る上で重要な課題であるためこの計画を一步前に進めて頂くたく方針を伺う。

答 太田市長

湯原温泉病院を過疎計画上に地域の防災の拠点と書き加えたのは、地域防災計画



湯原温泉病院が避難訓練

の内容を踏まえてである。過疎債が取り下げになっても、いざという時の電力の確保を含めて検討していきたい。病院施設が土砂災害警戒区域に含まれるため、上流に砂防施設を作ってもらおうように県に働き掛けている。

問 統括保健師の確保・育成を

厚生労働省は、保健師の活動を組織横断的に統合調整及び推進し、技術及び専門的側面から指導する役割を担う者を統括保健師と定義している。少子高齢社会を迎え地域包括ケアシステムの構築が大きな課題となっている現在、保健師が果たす役割は重要で、統括保健師の確保・育成について市長の方針を伺う。

答 太田市長

真庭市には28名の保健師がいるが、色々な部署に分散配置している。専門的な側面からも横断的に調整支援する役割は必要だと思っている。真庭市の場合には、健康

推進課長が保健師で、その役割を果たしている。課長が任意団体の保健師会のトップとして、各部署を横断的に連携を取りながら人材育成をしている。しかし、将来管理職になる人も出るので、人材育成は総務部長が一元的に行うべきと考えている。

真庭市の組織はシンプルなほうが良いと思っていて、色々な職名を出来る限りつけたくないと考えている。しかし、重要な話だし県もそういう方針を持っているので今後検討し進めて行く。

柴田正志

問

ボルダリングを活用したスポーツ振興を



湯原クライミングセンターの利用者数は平成28年度に5,978だったが平成29年度は1万3,068人と倍増している。真庭市のスポーツの課題は1年を通じて全くしない人が4割近くいて特に働き盛りの世代にその傾向が顕著となっている。



市内各地から湯原に集まる

単純なルールのボルダリングはスポーツを習慣化する市民を増やす可能性が十分あると考える。既存のスポーツ施設の有効活用として空き部屋を利用しボルダリング施設をつくり、さらなるスポーツ振興を図ることができないか伺う。

答 太田市長

施設を増やすのかということと今現在、そこまでは考えていない。自分たちが既存施設に取り付けるのであれば、そしてその管理の支障がない中で作るということなら可能性としてはある。

問 こども園などの芝生化の推進

豊栄地区での実証実験の結果も見ながら効果的な支援策を検討していきたい。

保育園、幼稚園、こども園の芝生化の推進を今以上にスピード感を持って進めることができないか。

答 太田市長

3歳以上の子どもの発達の為には土をしつかり踏むということが重要で、土のグラウンドが必要だという意見のほうが強い。3歳未満の子どもが遊べる芝生はあつていいと思っている。

問 猿害について対策を

真庭市には捕獲処分をするると1頭に約3万円の助成制度がある。しかし捕獲処分をする為には捕獲柵代や餌代等の費用が事前に必要で、経費は捕獲できるまで回収できないことを考慮すると、猿捕獲に取組むチームには最初にある程度の費用を助成することが必要ではないかと思う。今後の猿害対策を伺う。

答 太田市長

岩本 壯八



多くの地域に 防犯カメラの設置を

テレビ報道や新聞等で殺人、傷害事件、窃盗事件などで様々な犯罪報道がなされ、治安の良さを誇る日本の安全神話も崩れかけている。こうした現象は都会だけでなく地方へも広がりを見せている。

特に、子どもを狙った卑劣な犯罪に対しては、断固これを起こさせない対策を講じなければならぬ。地域住民の防犯意識を高め、防犯に関わる団体等との連携は大変重要だが、犯罪の抑止、早期解決のため防犯カメラを多くの地域に設置するべきだが、所見を伺う。

答 太田市長

地域住民の相互の信頼関係がある地域づくり、みんなが安全な地域を作っていく。防犯パトロールもやっていたらいい。温かみのある地域づくりをしながら、必要

な所では防犯カメラという手段も使う。

熱中症指標計を全 小・中学校に配備 決定

問

今年の夏も猛暑日が続く、各地では高齢者を中心に熱中症による救急搬送が急増し、亡くなられた方もおられる。学校現場においても、子どもたちが熱中症で救急搬送されたというニュースを耳にする。

特に、屋外授業や部活においては養護教諭による注意喚起や様々な対策をとっているが、現場では担当教諭による判断に任せられている状況。気温、湿度の関係だけ



ミストシャワーで熱中症対策 天津小

でなく、生徒の体調や体力の問題もあるが、客観的な判断基準も無いため、判断を誤れば重大な結果が発生する恐れがある。

全小・中学校に熱中症指標計を複数個配備し、安心して活動できる体制を整えるべきだと思うが、教育長の所見を伺う。

答 三ツ教育長

未導入の学校もまだ何校があり、安全管理上の効果も高いと考えているので、学校規模、環境等に応じて必要数を判断し、全ての学校に配備したい。

福井 莊助



市道の安全ライン等 が不備で危険

市内各地の市道上の安全ライン等外側線、中央線、横断歩道及び止まれ、停止線が消えかかっており不備な表示が目立つ。交通事故防止に早い整備が必要。落合ICの出口から国道313号線と歩道の境に歩車道境界ブロックが数十m無い所が数箇所あり、

歩道も狭く危険な箇所を子ども達も登下校している。この様な箇所にグリーンベルト等県当局と協議し対処すべき。

不備ラインを各振興局で点検し年次計画で予算を組み、施工管理体制の強化を。

答 太田市長

区画線等の劣化が認められる箇所ごとに適時更新、補修し主体的に頑張る。落合橋から市役所まで歩道と車道の境の危険な所を見直し、生徒の通学の際であり岡山県と協議し反射テープ等の設置を速やかに実施する様働きかける。不備なライン等の管理体制は、幹線市道や通学路等に重点を置き公安委員会や道路部局、警察に伝え早く対応する。

答 宮本建設部長

危険箇所は公安委員会と協議点検し緊急性の高い所



国道313号線沿いの歩道狭小部

から対応。ライン等の予算は年次計画で予算を組み対応。

学校ブロック塀 対策と学校安全 計画は

問

昨年、大阪府北部地震で、高槻市の小学校のブロック塀が倒れて児童が死亡した事故は、社会的問題になった。真庭市内の小・中学校のブロック塀の調査と対策は。文部科学省による児童・生徒の学校安全計画は。

答 三ツ教育長

点検については塀の高さ、控え壁設置、塀の傾き、ひび割れ等点検した。小学校6校中学校2校には建築基準法不適合のブロック塀があり平成30年度に全て撤去完了しフェンスに改修した。

学校安全計画は災害等の対応と訓練、防災、防犯、通学路の安全管理等、市教育委員会が毎年学校訪問し確認している。職員会議で共通理解し安全確保に努める。

緒形 尚



台湾との太いパイプをつくる

訪日外国人旅行者が過去最高を記録する中で、真庭市でも平成28年の外国人延べ宿泊者数は2,000人、29年は4,800人、30年が6,200人と増えている。今後、さらなる集客を見据えてインバウンド誘客の取り組みを強化し、令和3年には外国人延べ宿泊者数1万人突破を目指している。

多くの市民、地域組織、観光業者などを巻き込んで取り組みをすることにより、達成可能な数値目標だと思ふ。



台湾宜蘭県にCLTで建設されたレストラン
きらんけん

真庭観光局の事業にインバウンド誘客事業があり、短期の取り組みと中・長期の取り組みをすることにより、ターゲットごとの確かなアプローチ方法を明確化するとある。短期誘

客ターゲットとして、韓国、台湾、香港を中心とするアジア圏域が明記されている。インバウンド誘客事業、短期誘客ターゲットである台湾に対してどのような展開や施策を考えているのか伺う。

昨年から真庭観光局を通じて台湾へのアプローチを強化している。この役割は観光局の役割だと思っている。ところが台湾、考えることは同じで、他もかなり強いアプローチをしているので、他の地域との差別化をどう図るのが重要な課題である。

答 太田市長

台湾との太いパイプをつくって、民間交流も含めてやっていかなければと思っている。私も台湾政府や、各自治体との関係でトップセールスをした方が良いという状況があれば、私も行きたいと思っている。

台湾旅行者が、岡山空港に着く以上こちらに引っ張ることができると可能性がある。岡山道、米子道の4車線化で頑張ったのもそういうことで、ぜひ倉敷から蒜山、そして日本海へ、というのも一つ有力なルートだと思っている。

小田 康文



問

市道管理の基本方針、実施方針の見直しを検討する

毎年夏になると、住民から市道の草刈りを要望する声を多く耳にする。北房振興局管内では、地域住民の善意によるボランティアで市道の草刈りを長年実施してきた経緯があり、それが地域のプライドでもあった。他の振興

局では1振興局当たり年間数百万円かけて市が実施している市道の草刈り費用も、真庭市誕生以来、北房振興局管内はずっと0円で推移している。これまで地域住民の善意に頼ってきた北房地域の市道管理も、担い手の高齢化と減少により十分とは言えない状況が目立ってきた。市道管理(除草)の基準はどのようなものなのか。



住民がボランティアで除草をしていた集落間の市道

答 太田市長

北房地域市道の管理延長が約144kmあるが、そのうち23kmで除草を実施しており、そのうち20kmを道路作業員、残

答 宮本建設部長

平成28年5月に示した市道の除草の基本方針は交通量が多いものや作業に危険が伴うものは専門業者へ委託する。集落内とか生活道路は自治会、地元でお願いするというものである。これがベースとなるのでもう4年が経過したからもう一回再確認したい。新しい基準の策定をできるだけ早くやるように頑張る。

庄司 史郎



問 学校現場の働き方改革の認識と取り組みの考え方は

働き方改革が唱えられている重要な分野として教育現場がある。教員の時間外勤務を減らすことによって、教師の日々の生活の質や教職人生を豊かにし、児童・生徒に真に必要な総合的な指導を継続的に行うことができる状況を作り出すのが学校における働き方改革の目指すところと聞いている。真に実のある改革とするには、学校現



教室での様子 河内小

場の声を吸い上げる仕組みが必要、どう考えているか。

答 三ツ教育長

国からのガイドラインでは、月45時間を超えないということが示されている。真庭でもこれを超えている学校が多い。中学校は全ての学校が超えている。過労死ラインと言われる80時間を超えている教職員も中学校では4月から6月、30人以上いる。看過できない問題であると考えている。学校の教育指導に関することだけでなく、働き方改革に関して学校で教職員が対話して考えるところを進めている。

問 岡山県学力・学習状況調査結果をどう捉えているか

今回の結果を見ると、県平均、全国平均からもマイナスとなっている。今回の数字に一喜一憂してはいけないが、公表されるわけで、真庭市の教育力というものを他者から見られる一つの材料にはなる。どうい問題があつ

て、こういう結果になっているのか精査し、結果が出るように取り組みを強めていたきたい。

答 三ツ教育長

時代に求められる学力を一定程度把握するのが学力調査で、重要な指標であると考えている。新しく求められる学力への対応が遅れがある、そういう現実が今回の調査結果であろうと感じている。重要なのは授業の質、重要課題に人材育成を位置づけ、授業研究などを通して質の向上に取り組む。

問 多様性を尊重する共生社会の実現を

岡崎 陽輔



外国人労働者の生活実態と相談支援体制の充実。政府統計では、外国籍住民数は過去最高を更新している。技能実習生の問題など、非常に制度そのものが外国人労働者の人権や、労働環境、労働状況など問題があることが国会でも指摘されている。生活

上の問題や労働上の問題の実態が外に出にくい。定住外国人の生活実態はどのように把握しているのか。多言語化の窓口の問題を含めて、外国の人達に対しての救済的な窓口や相談窓口、支援体制はどうなっているのか。



世界の人と手を携えて

答 太田市長

外国人居住は272人で0.6%。在留資格別では、技能実習1号40人、2号が45人、永住52人、特別永住38人等となっている。人権推進指針は、誰もが尊重される共生社会真庭の実現が基本理念とし、SDGsの理念とも一致している。真庭に住む外国人労働者を単なる労働力ではなく、真庭に暮らす一人の人として充実した生活ができるよう支援していきたい。相談は、必要な配慮をし懇切丁寧に

行う。第一の窓口は、くらし安全課の生活総合相談窓口に設けている。

問 LGBTの相談支援体制の充実を

相談者に対する対応要領やガイドラインを明確にして対応している自治体もある。個別に寄り添って、一歩進んだ形での対応を慎重にしていく必要がある。こうした問題に対応する職員研修など学校現場も含め、充実すべき点がある。

答 太田市長

生活総合相談窓口で対応する。プライバシーを尊重しながら関係機関と連携しながら対応する。職員の研修を実施し、認識を十分にしたい。

答 三ツ教育長

児童生徒・教職員も性の多様性について学ぶ場を確保する。児童生徒の違和感や困り感に寄り添う相談機会を充実し、外部機関と連携を強める。学校生活の個別具体的な場面を想定し対応する。

柿本健治



問 有害鳥獣対策を

近年の鳥獣被害は、猪・鹿のみならず猿による被害が拡大しており対応に苦慮している。被害が多発している地域では、住民自らが自主的な対策を取っているが、行政の支援なくして成果を上げる事は困難であり、早急な支援体制が必要。岡山県の調査でも被害が拡大している事が確認されている。



サル捕獲檻 見明戸地内

関係機関との連携をより強化し、猿の被害発生地域で自主的な取り組みを行っている方々と連携する事によ

る取り組みを市内全域に実施する事が喫緊の課題と考えるが見解を伺う。

答 太田市長

30年度に県が行った調査で猿の群れが66群、2,600頭で、10年間で分布は2倍、加害レベル4の群れ3群が真庭市内に生息している。県では、今年度から3年間で除去するとしており真庭市も協力していく。猿について切り札はなく、地域住民と猟友会と行政が一体となって粘り強く取り組む事しかないと思う。

答 新田産業観光部長

県の調査により加害レベルの高い群れがいる事が明らかになったので、本格的な猿対策に取り組んでいく。

高齢者事故防止策を

問

高齢化社会が進行する中で、高齢者によるアクセルの踏み間違いや急発進等による交通事故が多発し、社会問題となっている。日常生活を維持するために高齢者の自

動車運転は避けられず、高齢者の運転する自動車に対し、防止装置の整備に対する助成を検討すべきと考えるが所見を伺う。

答 太田市長

真庭で移動手段を考えると、公共交通機関でカバーできていない。車を用意して乗らざるを得ないのも現実。

真庭市として、前向きに考えれば良いと思っており、広く議論いただきたい。所管委員会でも十分議論して頂ければと思っている。

氏平篤正

問



美術ギャラリーは エスパスに建てよう

晴海プロジェクト事業が突然発表され、CLTパビリオンと美術ギャラリーを蒜山に建てる旨の発言がある。

市民が使う美術ギャラリーは人口が集中している所に建てるべき。建設後の管理運営を考えると、学芸員を雇い真庭エスパス文化振興財団に任せるのが一番安く一番安



自分達の絵を展示する美術ギャラリー

定している。美術ギャラリーは久世エスパスランド内に建設すべきであり、その可能性を問う。真庭市基金は296億円あり、市民が希求することを使うべき。

答 太田市長

誤解がある。蒜山に全ての物を集める、代表する物と言った訳ではない。ちよつと憩うのに美術ギャラリー的な物があつたらいいと言った。

真庭の地域価値を高めていく為に文化振興は必要。現在利用を検討している旧遷喬小学校を工夫してギャラリーに、現代アートは土広場で、エスパスの建物だけでなくエスパスランド全体を上手く活用する方法はあると

思う。

総合計画で真庭ミュージアムは仮称だが、文化と芸術の拠点の創造は市民と一緒に考えると位置づけている。

消防署にはしご車を！

問

市内に高い建物が増えており、消防署にはしご車が必要と考える。

答 太田市長

最優先する課題ではない。1億3千万円の購入費が必要、安全基準の高い維持管理費が必要、8〜10人の消防職員が必要、車庫が必要。

広報真庭の全国入選おめでとう

問

入選祝として白黒写真をカラーにして、全国トップレベルの広報体制を保とう。

答 有元総合政策部長

カラーにすると年40万円程の予算がある。節約や費用対効果を心がけるが、必要な記事はカラーにしていく。

谷本 彰良



踏み間違い事故防止 対応を

東京都では池袋の事故受け、8月より高齢者ドライバーを対象に踏み間違い防止装置取付に、補助金を支給することが大きく報道された。

近隣の市町村では、美作市が今年4月から、美咲町は平成29年10月から補助金を支給している。新車への自動(衝突被害軽減)ブレーキ装備の義務化が検討されている。車の車齢は年々延びて10年前後。自動ブレーキが義務化されても、未装着車が10年以上走り続ける。車を買い換えれば踏み間違い事故の問題は解決するが、年金生活の高齢者には負担が大きすぎる。

新聞報道によると、6月の県議会でのこの問題が取り上

げられて、岡山県知事も「補助金制度も含めより効果的な普及方法を研究していく」とのことだったが、県からのアクションはあったのか。真庭の暮らしを守るためにも、真庭市の対応を伺う。



一目でわかる踏み間違い防止装置

答 太田市長

全国的にも高齢者の踏み間違いによる事故防止

対策が求められている。県内では、過去5年間で516件、真庭警察署管内で12件の踏み間違いによる人身事故があった。

この装置の支援に前向きに検討していく。また委員会を対象者や所得など議論して頂きたい。

真庭市は、研究ではなく、前向きに検討していく。行政用語で研究は検討以下と思う。県に真意を確かめて、積極的に県も検討、あるいはそれ以上に実施に向かってやるように要望していく。

妹尾 智之



問

風疹の感染拡大防止

風疹は重症化することがあるだけでなく、妊娠初期の女性がかかると胎児にウイルスが感染し、出生後に目や耳、心臓などに障がいが生じる先天性風疹症候群を発症するおそれがある。国や自治体は対象者への周知徹底を進めるべきであると思う。以下の点について市長に伺う。



市が発行「風疹啓発パンフレット」

発等の協力を依頼している。

問 物を大切に 心を学ぶ

学校の統合や廃校に伴い、破棄予定の備品や教材等を必要とする方にリサイクルすることで、物を大切にすることを学び、もったいな

①昨年度、真庭市内における成人男性の予防接種受診率はいかがか。
②今後、周知啓発をどのように行うか。

答 太田市長

①昨年度、市独自の予防接種の接種率が0.3%・13人。今年は5月、6月の2カ月で、抗体検査を受けた方が47%・2カ月間で204人、うち抗体値が低くて予防接種を受けた方が1.0%・44人。

②真庭市ホームページ、広報紙、チラシ、MITという広報に加え、企業を対象に健康サポート出前講座の際に紹介啓発をしている。医療機関へも制度の説明を行い、啓

答 三ツ教育長

廃校後の学校備品について使えるものは必要などところで活用をしている。地域が、廃校備品等の活用をしたい意向をお持ちのときは、地域の核であった学校の歴史を踏まえ、その活動を応援していきたい。地域や市民の方々が主体となり、地域活性化や再利用を目的とした取り組みが行われる時には、しっかりと応援をしていきたい。

廃校後の学校備品について使えるものは必要などところで活用をしている。地域が、廃校備品等の活用をしたい意向をお持ちのときは、地域の核であった学校の歴史を踏まえ、その活動を応援していきたい。地域や市民の方々が主体となり、地域活性化や再利用を目的とした取り組みが行われる時には、しっかりと応援をしていきたい。



高校生議会終了後の記念撮影

高校生議会

8月3日(土)、市内2校4校地の高校生らが議員となり、市長や教育長そして幹部職員らに一般質問を行う「高校生議会」が、真庭青年会議所の主催で、市役所4階の議場にて開催されました。

「高校生議会」は、若者に政治への参画意識を高めてもらうために平成29年より開催されており、今年で3回目です。高校生議員らは、高校生活の中での身近な問題を中心に意見や要望を述べました。

高校生議員：榎本祐一郎、石田貴郁、宮地宗土朗(勝山高校) 室川大和、本多礼緒奈、村上太郎(真庭高校落合校地) 川越博文、小谷琴羽、杉村美沙都(勝山高校蒜山校地) 黒田侑希、里村英輝、中尾涼雅(真庭高校久世校地) (敬称略)

交通事故防止に努める



交通安全を願う県警音楽隊

秋の交通安全県民運動が、9月21日から30日までの10日間、県下一斉に行われました。期間中、高齢運転者の事故防止や飲酒運転の根絶などを重点目標に、警察や関係団体と連携して交通マナー向上を呼びかけました。出発式では県警音楽隊の演奏もありました。



あいさつする浦上岡山市議会議長

8月19日、美作文化センターで岡山市議会議員研修会が開催され、真庭市議会から15人の議員が出席しました。講師は元鳥取県知事、元総務大臣、現早稲田大学公共経営大学院教授の片山善博氏でした。地方議会のあり方と題して、議会改革を行うには次の3つを乗り越えることとした。①市長と手を切ること②議案をより良い結果に直すこと③自治体の最高意思決定機関は市長ではなく議会と。

議員研修会に片山善博氏



文教委員とやまなみメンバーが意見交換

聴覚障害者団体と意見交換 文教

7月11日、文教厚生常任委員会は、真庭聴覚障害者コミュニケーションの会「やまなみ」と意見交換を行いました。田中勝文氏からは、手話を言語として認めて欲しいという要望を頂きました。議員も、ろう者のコミュニケーションの歴史や課題を学ぶ良い機会となりました。



真庭市議会の活性化を推進するため、平成28年度に決めた活性化15策について事業の検証を進めています。議会運営委員会に今年度は中間報告、令和2年度にまとめの報告ができるよう取り組んでまいります。(前列左より、柴田部会長、山本副部会長、後列左より河本事務局長、中尾、中元、入澤、長尾部会員)

令和初の敬老会に1万人をご招待



ステージで踊りを披露する落合こども園児

9月7日、エスパホールでの久世地域敬老会を皮切りに市内7会場で、令和初の真庭市敬老会が開催されました。今年招待された75歳以上の方は10,063人で、100歳以上の方は79人でした。それぞれの会場で「来年も元気なお姿でお会いしましょう」とあいさつが飛び交いました。



ICT(人工知能)の可能性を研究開始
ICT化推進部会では7月26日(金)に、「徳島発! AI要約サービス」と「自動文字起こしによる議事録作成」について調査・研究のために徳島県庁を視察しました。このシステムは会議で発言した内容をリアルタイムでAIが音声認識、文字起こし・文章化するもので、50%に要約など指定した割合への要約も可能となつています。真庭市議会でもホームページへの会議録の迅速な公開、議会事務局職員の負担軽減につながるかと判断し、研究を開始しました。

全国のヨーグルトが蒜山に集結

9月28日・29日と第2回全国ヨーグルトサミットが真庭市で開催されました。1日目はシンポジウムが行われ、蒜山酪農農業協同組合等、5社の取り組みが発表されました。2日目は、海の市・山の市会場でヨーグルトの販売、総選挙も行われました。



視察に訪れた小美玉市議会とともに

旧遷喬小学校でアニメーション

まにわ映像フェスティバルで、6年ぶりに旧遷喬尋常小学校でアニメーションマッピングが開催されました。東京工芸大学の学生が制作したアニメーションに8月23日からの3日間で約1,240人の聴衆



のれん、はんざきが映し出されたアニメーション

が魅了されました。牛、はんざき、のれん、桜などが登場する真庭ならではの10分間でした。

GIKAI NO UGOKI

議会

の

動き

7月 8月 9月編

北房こども園等17園を訪問



富原保育園で園長の説明を聞く文教委員

7月8日～12日、文教厚生常任委員会は、11のこども園と6の保育園と2の幼稚園を訪問しました。事前に、①園外保育での危険箇所やヒヤリハット事例、②保育士の人員、③早出や遅番体制、④施設整備、⑤要支援児童の状況の5項目について予め質問を送り、訪問時に説明を受けました。

施設面の課題としては、老朽化した建物や備品の不足の問題。運営上の課題としては、要支援児童が増加傾向にあり、保育士の配置数の問題、任期付職員の増加等の問題がありました。文教厚生常任委員会は、早速課題を取りまとめ、古南議長を通じて担当の子育て支援課へ意見を提出しました。

総務委員が集落支援員と意見交換



若い力で地域を元気に

8月1日総務常任委員会では、今年度から配置された4人の兼任型集落支援員のうち梶川蘭さん(中和)、前田昭子さん(美甘)、谷本吉照さん(上水田)3人と意見交換会を行いました。今後は、集落支援員と一緒に「地域の人・物・文化」をつなぎ、さらに地域を盛り上げていきたいと思ひます。

産建委員が猟友会と意見交換



有害鳥獣について議論

9月4日、産業建設常任委員会は真庭地区猟友会との意見交換会を実施しました。有害鳥獣駆除の現状を聞くとともに、「市民と語る会」の中で多くの意見があったイノシシ、猿の被害や、活動の中での困難事例について意見交換を行いました。

倉吉市議会と真庭市議会が交流



説明する小田ICT化推進部会長

7月23日、鳥取県倉吉市議会との交流会を開催しました。議員の交流を深めることと、隣接する地域課題を共通認識するために行っています。今回は、タブレット端末を活用した議会活性化の取り組みについて説明し、倉吉市議会も導入を検討するそうです。

仲間の輪を広げたい



真庭市集落支援員
前田 昭子さん

大阪から引っ越してきて8年、福祉や子育て、移住のことなど見えるだけでも課題が沢山ある中で集落支援員になり、もっと地域に関わりたい思いでいます。ですが、一人の力には限界があります。今後も美甘に住み続けるために未来を見据えた地域づくりに関わってくれる仲間の輪を広げたいと考えています。

市民に手話を広めて欲しい



真庭市聴覚障害者
コミュニケーションの会
やまなみ
田中 勝文さん

意見交換の時には、私達の耳が聞こえないことを広めるために、色々なことを説明しました。お互いに理解が深まりました。私達は、手話言語条例の制定に向けて動いてほしいと思っています。手話を理解してもらい、小学校や中学校、そして市民みんなに手話を広めて欲しいです。

有害鳥獣駆除は社会貢献



真庭地区猟友会
会長
山本 健二さん

我々猟友会の活動は無事故無違反が一番大事で、有害鳥獣駆除は社会貢献として行っています。猟友会の会員は減少や高齢化が進んでおり、特に猟銃を所持する会員が減っています。猟銃に対する規制は厳しく、有害鳥獣駆除に関する銃規制緩和について、ぜひ広く議論いただきたい。

市民と議会の信頼関係を築く広報

50号だから高校生50人に聞きました「議員になったらやってみたいこと」以来、議会改革と並行し、広報改革に取り組んできました。先生は日本広報協会です。令和を記念して「真庭市議会だより」から「議会広報まにわ」へ改名しました。

広報（パブリックリレーション）の語源どおり、市民と議会の信頼関係を築くため、広報紙を発行しています。ぜひ読んでください。市民の広場、議会クイズにもご参加を！どうぞよろしくお願いいたします。

議会広報編集特別委員会 委員長 氏平 篤正

ハガキとおしゃべり…

MITを視聴して「君を用いる」とますと、議長は市長になっており、真庭市を「太田昇君」と呼んでいます。なぜ「太田昇さん」と呼ばないのですか？ 「参議院先例録」に、「互いに敬称として、『君』で呼びます」とのことです。



双子のコスモス 山本庭



秋の神庭の滝 洗耳

夏の神庭の滝 KE

議 会 報 告



鹿田踊り 踊り手募集 M.O



ガラス美術館 (19) HAPPY HALLOWEEN



きょうりゅうだ! ティラノサウルス



蒜山に行きました 和田家



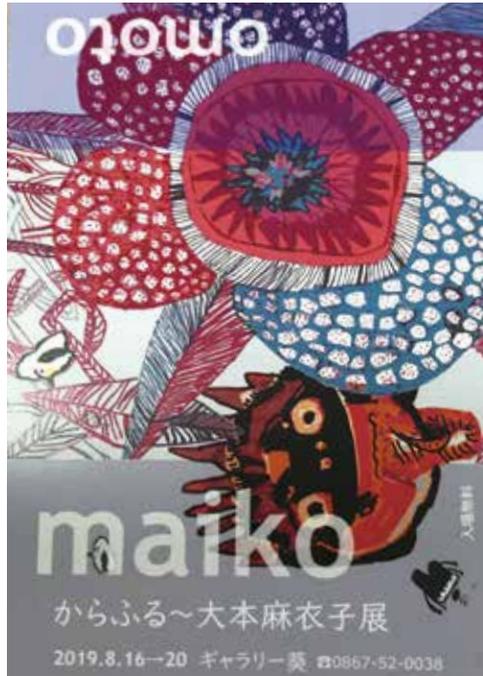
防災訓練で活躍したレスキュー隊 広報委員

市民の 広場

ここは市民みなでつくるページです
楽しい気持ちでご参加ください



じいじの手仕事 村松五郎



からふる〜 大本麻衣子



赤い金魚 kyo



ふろしきアート エコ姉さん



あかり100日100日 武京



バードカービング 國米佐智夫



バースデー
カード 一朗



吉念仏踊 先祖供養 松下



フラワーアレンジメント Yu-



議長室の看板

喜ばしい話題4つ

- 9月議会市長諸報告の中であった喜ばしい話題をお知らせします。
- ▼勝山高校蒜山校地馬術部が全日本高校馬術競技大会、全日本高校馬術選手権大会に出場しました。
- ▼真庭高校久世校地が日本学校農業クラブ連盟中国ブロック大会で優秀賞を受賞しました。
- ▼スポレクせJr.綱引部が全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会、男子ジュニア320kg以下の部で準優勝しました。
- ▼真庭市消防本部救助隊員が全国消防救助技術大会「はしご登はん」の部で最優秀賞(全国1位)を獲得しました。

BO 集

絵画、イラスト、書、写真などを募集しています。住所、氏名、電話番号を書いてください。ペンネームを希望される場合も連絡先と氏名が書いてあることが必要です。

「投稿!言いたい」は200字以内にまとめ、ご応募ください。文責として氏名を掲載します。誹謗中傷等の内容や紙面の都合上、掲載できない場合があります。

応募先 真庭市議会
宛先:24ページの緑帯欄に記載しています

12月定例会の日程

12月3日(火)本会議(開会・提案説明)

6日(金)本会議(一般質問)

9日(月)本会議(一般質問)

10日(火)本会議(一般質問・議案質疑)

12日(木)13日(金)16日(月)常任委員会

17日(火)18日(水)予算審査特別委員会

24日(火)本会議(委員長報告、採決、閉会)

- 会議は通常午前9時30分に開会します。
- 正式には11月25日の議会運営委員会で決定します。



お知らせ

12月定例会の請願・陳情は11月29日(金)まで

12月定例会の請願と陳情の受付は、11月29日(金)までです。

来年3月定例会の締切は1月31日(金)

6月定例会の締切は5月29日(金)

9月定例会の締切は8月31日(月)

までです。様式などの問い合わせは議会事務局までお願いします。ただし、土日祝祭日等の市役所の閉庁日は除きます。

市政などについての意見や要望があるときは、誰でも請願や陳情を議会に提出することができます。

請願は、議員の紹介を必要とするのに対し、陳情の場合は議員の紹介は必要ありません。

議会クイズ “〇〇の日”

9月1日、関東大震災にちなみ昭和35年に制定されたのは、

正解者の中から2人に「やまのいも銀沫」が当たります。はがきに答えとあなたの住所・氏名を本ページ緑欄に記載している真庭市議会までお送りください。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。締切は11月29日(金)です。

前号の応募総数は40通で、正解者40人でした。ご応募ありがとうございました。



やまのいも銀沫



ふるさと1枚

高さ15mの湯原クライミングセンターリード壁 建物内に高さ4mの室内壁があり今人気です

タブレット導入から1年

委員長	氏平正
副委員長	大月篤子
委員	緒形尚
委員	谷本彰
委員	初本久
委員	山本俊
事務局	南本樹
表紙モデル	谷本、写真氏平が担当しました

議会広報編集特別委員会

誰一人として取り残すことなく、「チーム真庭市議会」として新たな目標に向かって、取り組んでいます。(文：谷本)

タブレットが平成30年9月議会から試験的に導入されて始まった、ペーパーレス議会から早いもので1年が経ちました。導入前は、増え続ける資料の山に整理が追いつかず、紙に埋もれてしまう悪夢に悩まされたことが、今では嘘のようです。導入時は、議員の年齢差が親子以上もあり、タブレットを操作できるのか心配されましたが、個人的にパソコン教室に通うなど努力をして操作をマスターされました。一般質問通告書や議会広報の原稿等の議会事務局とのやりとりも、全て電子化する事が出来ました。

資料の山に整理が追いつかず、紙に埋もれてしまう悪夢に悩まされたことが、今では嘘のようです。



議会よもころろ話

議会改革 新たなステージへ

真庭市議会広報まにわ 第58号

令和元年11月1日発行 TEL 719-3292
発行 真庭市久世2927-2 真庭市議会

TEL (0867)42-1272 FAX (0867)42-1420
URL <http://www.city.manitwa.lg.jp/> (真庭市ホームページ)
Eメール gikai@city.manitwa.lg.jp